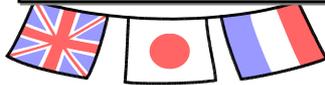




横田小だより



平成27年5月29日発行
高岡市立横田小学校



学校行事は子供と成長させる

校長 吉江 いとみ

雨天順延となりましたが、17日（日）に、さわやかな晴天の下、運動会を開催することができました。PTAの皆様方には、親子奉仕活動や朝早くからの万国旗、テント張り等の会場準備、そして後片付け等にご協力くださり、誠にありがとうございました。グラウンドにたくさんのテントが次々に建つ光景に、横田地区のパワーを改めて感じました。また、ご家族や地域の皆様には、スムーズな運営へのご協力、そして、大きな声援をありがとうございました。

その声援に応えるかのように、子供たちは大きな声で応援したり最後まで力を出し切って競技に参加したりしていました。その姿に感動する場面もたくさんありましたね。

また、上級生が下級生の世話をしたり、5年生が6年生を見習って係の仕事に取り組んだりなど、運動会を通して、異年齢の仲間と力を合わせることや自分の役割をしっかりと果たすことの大切さなども学びました。皆様にも、子供たち一人一人の頑張っている姿や成長した姿をご覧いただけたことと思います。

学校行事は子供を成長させる大きな舞台です。

今後も、日々の学習と行事のそれぞれで育つ力を考え、バランスを取りながら取り組んで参ります。



コミュニケーションについて

コミュニケーション能力の必要性が言われて久しいですね。「日本人に不足している」「近年は人間関係が希薄になってきている」からこそというわけです。

確かにそうでしょう。ただ、私は「雄弁に語るのがよい」といった捉え方をされたり、「言った者勝ち」と勘違いされたりしないかと少し心配しています。

そもそも、「話すこと」がコミュニケーションと思われがちですが、コミュニケーションは相手と受け取り合いをすることです。ですから、「聞くこと」はもちろん、表情や雰囲気等から相手の気持ちを考える、といったことも大事だと思います。また、雄弁でなくても、一生懸命に伝えようとする気持ちがあれば、相手に伝わるものです。

子供たちには、「相手の話を、目と心で聞く」「自分の考えていることを、自分の言葉で話せる」ようになってほしいと願っています。

